平成１７年度当初予算　施策別概要

５３４　過疎・離島・半島地域の振興

（主担当部局：地域振興部）

53401 過疎・準過疎地域の自立促進（地域振興部）
53402 離島地域活性化の総合的推進（地域振興部）
53403 紀伊半島地域の活性化　　　（地域振興部）

＜施策の目的＞
（対象）過疎・離島・半島地域が
（意図）自立して活力と魅力に富み、人と自然が共生している

＜施策の数値目標＞

目　標　項　目		Ｈ１５年度	Ｈ１６年度	Ｈ１７年度	Ｈ１８年度
過疎地域人口の減少率全国比（%）	目標値	1.12	1.11	1.10	1.08
	実績値	1.13			

※　過疎地域として指定されている県内市町村における人口の減少率と、全国の過疎地域市町村における人口の減少率とを比較した指標

＜平成17年度に残っている課題＞
① 過疎地域については、平成１６年度に策定作業をする後期（対象期間：平成１７年度～平成２１年度）の過疎地域自立促進方針及び同計画に基づき、その着実な推進をはかっていく必要があります。

②　離島地域については、平成１５年度に策定した三重県離島振興計画（平成１５年度～平成２４年度）に基づき、生活環境を保全する施設の整備や地域資源を活用した交流の促進などに関係市、民間団体等と連携して取組む必要があります。

③　東紀州については、世界遺産に登録された熊野古道を保全・活用する事業を展開し、地域の個性を活かした取組を実施していく必要があります。

＜平成17年度の施策の取組方向＞
①　過疎地域を多様で豊かな地域資源と潜在力、可能性を有する地域として捉え、地域の創意工夫に基づく自主的・主体的な取組を基本としつつ、こうした地域の活動を支援し、地域の自立を促進する戦略的で効果的な施策を展開していきます。

②　離島振興地域を有する市と県で構成する離島地域活性化連絡協議会を活用し、第６次三重県離島振興計画の着実な推進をはかります。

③　「熊野古道アクションプログラム」に基づき、地域住民、事業者、行政が協働して、「東紀州活性化推進事業」および、地域の自然、歴史、文化を活かした「熊野古道ツーリズム」に取

り組むとともに、熊野古道センター(仮称)の整備を進めます。
　また、「紀南地域の振興策」に基づき、振興策を着実に促進するとともに、施設整備に向けた取組を進めます。

＜主な事業＞

①　離島航路整備事業補助金【基本事業名：53402 離島地域活性化の総合的推進】
当初予算額：⑯　４３，３００千円　→　⑰　３４，３９８千円
事業概要：離島航路事業の維持改善を図り、離島地域の振興及び離島住民の生活の安定と向上に資するため、離島航路事業者に対し補助を行います。

②　離島交流促進事業費【基本事業名：53402 離島地域活性化の総合的推進】
当初予算額：⑯　５，５００千円　→　⑰　３，７５０千円
事業概要：離島の豊かな自然や島の人々が長い年月をかけて培ってきた島の文化を活用したモニターツアーを実施し、他地域との交流を促進するとともに、島の人々による地域ビジネスが展開できるしくみづくりを進めます。

③（重）熊野古道センター(仮称)整備事業費【基本事業名：53403 紀伊半島地域の活性化】
当初予算額：⑯　６１７，０４９千円　→　⑰　１，４６３，２８５千円
事業概要：東紀州の集客交流のための情報拠点となる熊野古道センター（仮称）の建設工事、展示工事、運営計画の策定など、ソフト・ハードの両面から事業を進め、平成 18 年度のオープンを目指して、整備を推進します。

④（重）紀南集客交流推進事業費【基本事業名：53403 紀伊半島地域の活性化】
当初予算額：⑯　１８，１８０千円　→　⑰　２２，９３０千円
事業概要：「紀南地域の振興策」を基本として、熊野古道を中心とした地域資源の活用を図りながら、集客交流の基盤整備や体制づくりを進めます。

⑤（重）世界遺産（熊野古道）対策推進事業費【基本事業名：53403 紀伊半島地域の活性化】
当初予算額：⑯　１２８，０３２千円　→　⑰　６８，２１１千円
事業概要：平成 16 年に世界遺産登録された熊野古道の保全と活用のため、熊野古道アクションプログラムの着実な推進をはかり、地域の活性化につなげていきます。